

【発行者】新潟農業普及指導センター
新津庁舎 0250-24-9624 津川分室 0254-92-0965

コシヒカリは2回目穂肥を確実に施用！ 基肥一発施肥で葉色低下が著しいほ場は 追加穂肥を検討

1 生育状況 (7月20日現在)

コシヒカリ : 草丈「やや長」 茎数「並」 葉数の進み「並」 葉色「並」
新之助 : 草丈「やや長」 茎数「少」 葉数の進み「並」 葉色「並」

| 品種 | | 草丈 (cm) | 茎数(本/m ²) | 葉数(葉) | 葉色 (SPAD 値) |
|------------------|-------|---------|-----------------------|-------|-------------|
| コシヒカリ (調査点数9) | 本年値 | 83 | 410 | 12.2 | 33.9 |
| | 指標比・差 | 108% | 99% | -0.1 | +0.2 |
| 新之助 (調査点数5) | 本年値 | 68 | 469 | 11.9 | 34.3 |
| | 指標比・差 | 105% | 88% | -0.3 | +0.3 |

2 今後の天気 (7月17日～8月16日：新潟地方气象台7月15日発表)

気温：ほぼ平年並 降水量：ほぼ平年並 日照時間：ほぼ平年並

3 出穂期予測と穂肥時期・施用量のめやす (7月20日現在)

※コシヒカリの出穂期は前回速報よりも1日早まる予想。今後も高温が続く場合は、さらに早まる可能性がある。

| 品種名 | 出穂期 | 穂肥時期のめやす(出穂前日数) | | 合計窒素量 (kg/10a) |
|-------|------|-------------------|------------------|-------------------|
| | | 1回目 | 2回目 | |
| コシヒカリ | 8/5 | 7/18～21 (18～15) | 7/26 (10) | 1～3 |
| 新之助 | 8/12 | 7/22～7/25 (21～18) | 7/31～8/2 (12～10) | 2～3 |

4 今後の栽培管理

- 葉色の淡いコシヒカリほ場で、1回目穂肥が未施用の場合は直ちに施用する。
- コシヒカリの2回目穂肥は、後期栄養を確保するために出穂10日前(1回目穂肥を遅めに施用した場合は、1回目の7日後)に確実に施用する。
- コシヒカリの基肥一発施肥において、葉色が低下し、出穂期の葉色値(SPAD値)が32～33を下回ると予想される場合に、出穂10日前頃に追加穂肥を施用する。
- 幼穂形成期以降は飽水管理を徹底する。異常高温やフェーンとなる場合は、速やかに湛水して稲体の障害の発生を防ぐ。
- いもち病の発生が管内各地で確認されているので、コシヒカリBL以外の品種で発生が確認されたほ場は、液剤か粉剤で直ちに防除する。
- 斑点米カメムシ類の発生が多いため、穂ぞろい期に薬剤防除を実施し、斑点米発生防止に努める。

～ 農作業時の熱中症対策は万全に！ ～